

子育て関係団体等への意見聴取について

1 目的

日頃、市内で子育て支援の活動を行っている団体等の意見を聴き取ることで、事業の状況を把握し、こども計画策定における基礎資料とするため

2 調査対象

関係団体について、活動内容や対象者、運営規模などに偏りがないうよう選定

(1) 西脇市内の認定こども園（8園）

(2) 子育て関係団体

ア NPO法人 みなみ会

イ NPO法人 西脇てとて広場

ウ 子育て支援ボランティアグループきらきら（こどもプラザで活動されているボランティアグループ）

3 調査方法

(1) 認定こども園 アンケート調査

(2) 子育て関係団体 アンケート調査及びヒアリング調査

4 実施期間

令和6年1月～2月

5 調査内容

(1) 団体概要（構成人数、活動目的、活動内容）

(2) 保護者が抱えている子育てに関する悩みや問題及びその傾向等

(3) 子どもの育ちに大切なこと

(4) 保護者が西脇市（又は地域）に求めていること

(5) 西脇市の子育て環境や支援（充実していること、課題、課題解決に向けて団体等で取り組めることや取り組みたいこと）等

(6) 子どもの権利（子どもが意見を表明する権利等）

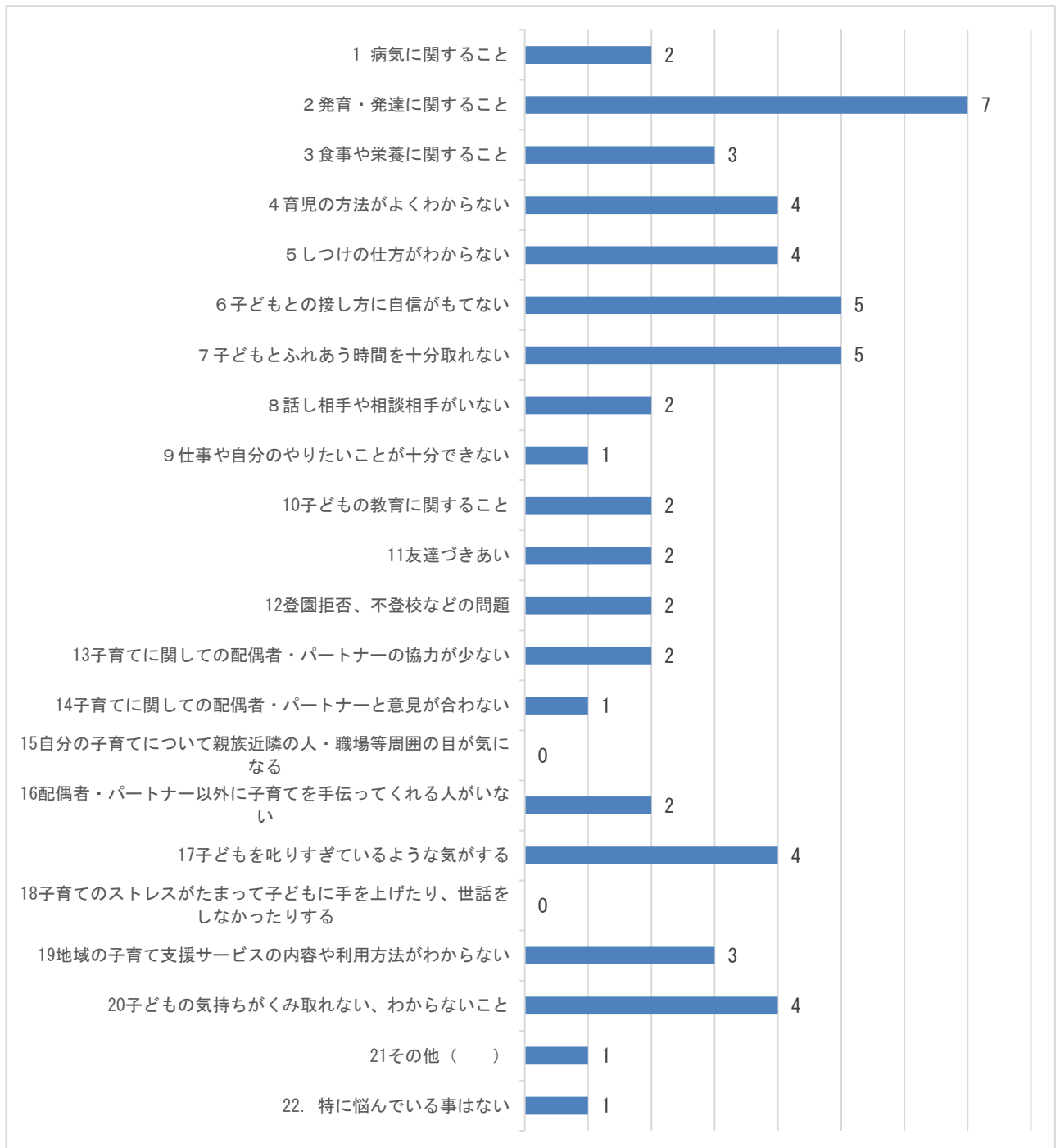
(7) 国、県、西脇市に対する子育て支援策等に関する意見や要望

■ 子育て関係団体へのアンケート調査

1 家庭や地域での子育ての実態について

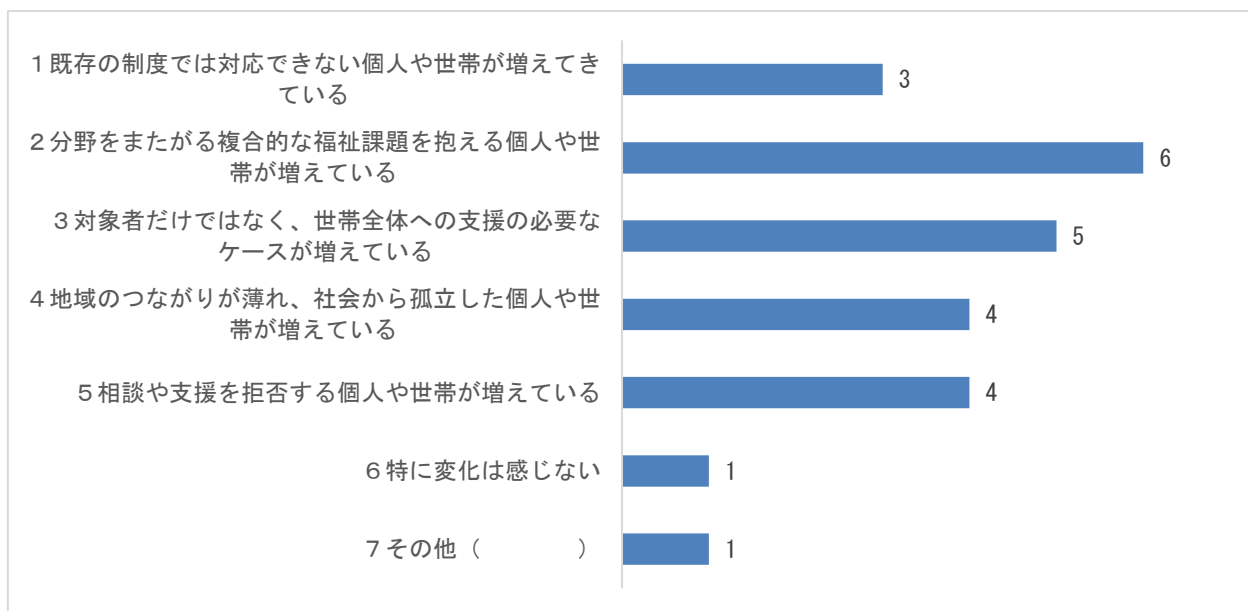
1 日々、子どもや保護者の方と接する中で、子育てに関してどのような悩みや問題を抱えていると感じますか。（あてはまるものすべてに○）

○ 上位3つは、「発育・発達に関すること」、「子どもとの接し方に自信がもてない」、「子どもとふれあう時間を十分取れない」



2 最近の相談内容や支援が必要な方の傾向について、どのように感じますか。（あてはまるものすべてに○）

- 上位4つは、「分野をまたがる複合的な福祉課題を抱える個人や世帯が増えている」、「対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている」、「地域のつながりが薄れ、社会から孤立した個人や世帯が増えている」、「相談や支援を拒否する個人や世帯が増えている」



3 子どもの育ちに大切なことはどんなことだと思いますか。

○子どもの居場所づくり、豊かな遊びと体験、挑戦

- ・ のびのびと自己を発揮する場
- ・ 自分で目標を決めて、それを達成するためにはどうしたらよいかを試行錯誤をしながら考えること

○愛着

- ・ 愛着形成
- ・ 親子のコミュニケーション、子どもたちへの接し方
- ・ 愛情豊かに育てられること
- ・ 人から認められること

○子どもの育ちを支える環境

- ・ 安心して体を動かして遊ぶことができる場所（公園・広場）の充実
- ・ 安心して集まることができる場所（大人の見守りのもと）の充実
- ・ ひとりひとりの子どもの気持ちや保護者の思いに寄りそって支えていける学校教育の充実
- ・ 家庭環境

○療育の充実

- ・ 特別支援児に対する保育の充実
- ・ 放課後デイサービス等の充実

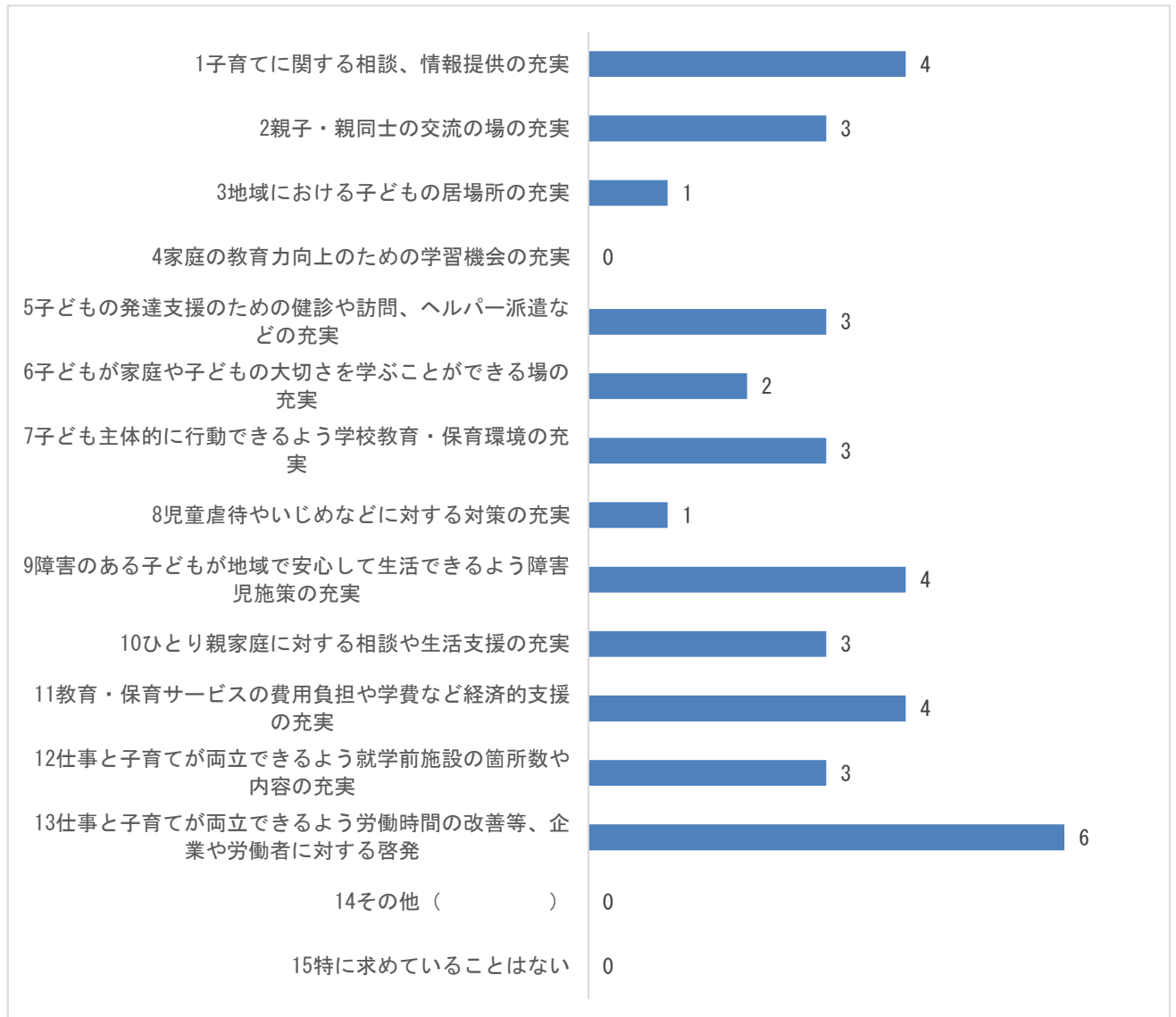
○地域との連携

- ・ 保育士、保護者、地域との連携
- ・ 地域（人）とのつながりを深めること

2 子育て支援活動について

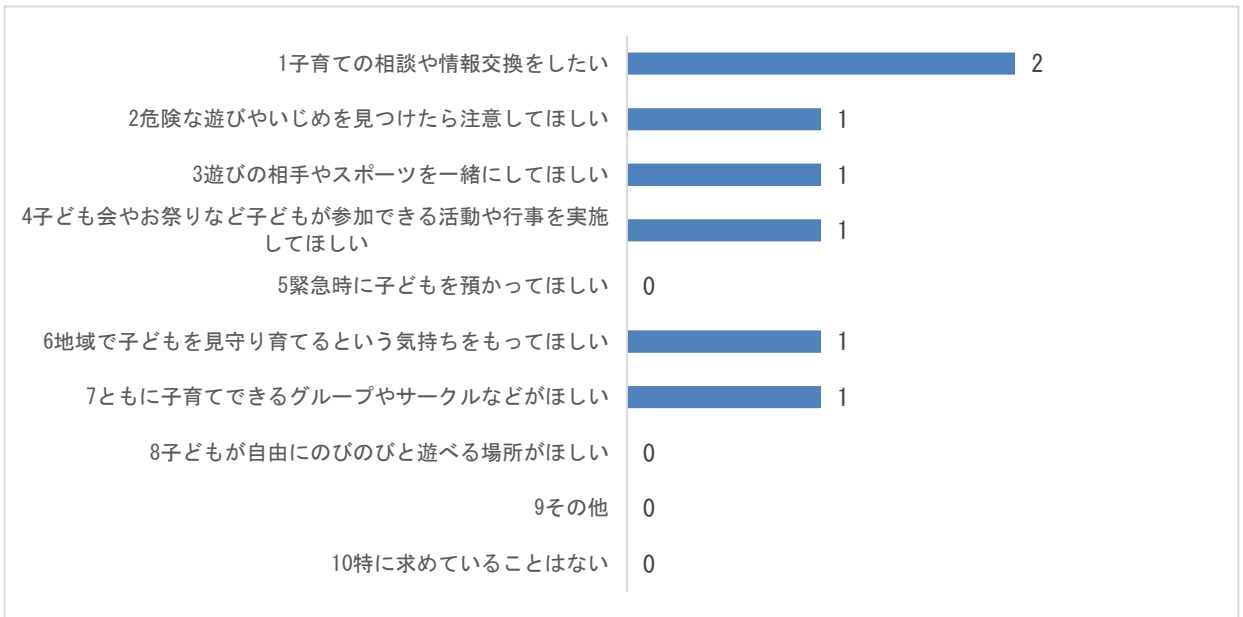
4 日々の事業や活動を通して保護者の方と接する中で、保護者の方が子育てをするにあたって西脇市に求めていることはどんなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）〔認定こども園のみに調査〕

○ 上位4つは、「仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発」、「子育てに関する相談、情報提供の充実」、「障害のある子どもが地域で安心して生活できるよう障害児施策の充実」、「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」



5 日々の事業や活動を通して保護者の方と接する中で、保護者の方が子育てをするにあたって地域に求めていることはどんなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）〔子育て関係団体のみに調査〕

- 上位6つは、「子育ての相談や情報交換をしたい」、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」、「遊びの相手やスポーツと一緒にしてほしい」、「子ども会やお祭りなど子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい」、「地域で子どもを見守り育てるという気持ちをもってほしい」、「ともに子育てできるグループやサークルなどがほしい」



6 西脇市の子育てや子どもが育つ環境について、充実していると思うことはなんですか。また、満足度についてお答えください。

○子育て環境（公共施設の充実等）

- ・自然が豊か
- ・Miraie やオリナスなどの充実した施設において、思考をこらしたイベントがあり、親子のふれあい場所が多くある。

○認定こども園等における取組

- ・園小連携、乳幼児の教育・保育（自然が豊かなど、園の特性を生かした教育・保育）

○発達に支援が必要な子どもへの取組

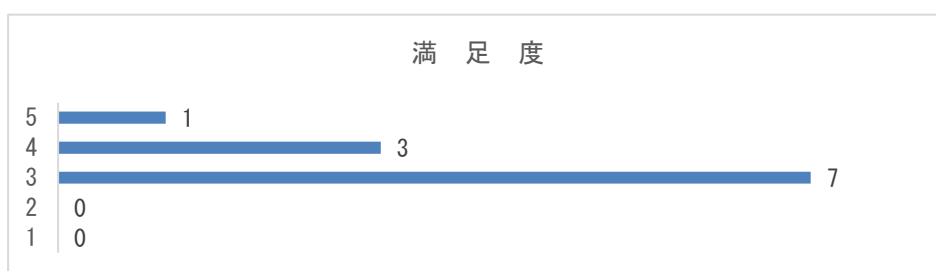
- ・サポートファイルをはじめ、発達に課題や不安のある子どもの支援

○関係機関との連携

- ・市が関係機関とのネットワークを構築しようとしている姿勢

○子育て情報の発信

- ・防災行政無線やチラシ配布などでの情報発信



7 日頃の活動を通じて、西脇市の子育て環境や支援について、現在の状況や問題点・課題と感じていることがありますか。また、課題解決に向けて取り組めることや取り組みたいことがありますか。

■状況や問題点・課題

■課題解決に向けて取り組めること・取り組みたいこと

●地域（人）とのつながり

- ・核家族が増えているのか、地域の人との交流が少ないように感じる。
- ・地域のこども園も市の施策と協力・連携を密接に進め、地域に子どもや親が集まりやすい環境づくりをしていきたい。

⇒放課後健全育成事業やこども食堂などの取組ができる職員体制を整えていきたい

●相談支援

- ・園で保護者に話をしても、なかなか相談につながらない。

⇒園での様子を見ながら相談を受けるように方向付けていく

●わかりやすい情報提供

- ・他市からみるととても良い施設があるのに利用する人が少ない。チラシ等によく案内しているが、あまり浸透していないように思う。（一部の人だけ）

●安定した子育てができるより良い家庭環境づくり

- ・共働き家庭の方がほとんどで、長時間園で過ごす子どもが多い。
- ・保護者に余裕がなく、子どもに向き合う時間がない。

⇒子どもたちが安心して園で過ごせるように環境を整える。人的環境を整えるために余裕ある職員配置

- ・祖父母と同居であっても、また、近くに住んでいても頼らずに夫婦で子育てをしようとする場合が多い。

⇒祖父母の方にも子育てに関心を持ってもらえるような取組を園行事等で工夫していきたい。

●発達に支援が必要な子どもへの取組

- ・障害のある児童・生徒に対する発達支援センターがないこと（窓口がバラバラとしていて、専門的な統合された機関が必要）

⇒こども園においては、保護者との面談や情報収集により関係機関とつないでいく

- ・特別支援児が利用できる施設が少ない。施設があっても入れない状況がある。園では専門でないため関わりに限界がある。
- ・特別支援学級利用のできない子が多い（就学後）。

⇒利用できる・通える施設の充実、人数配置

●生きづらさを抱えた子どもや子育て家庭の居場所づくり（子育て関係団体を増やす取組）

- ・行政でできないこと、学校でできないこと、トラブルのある親子や保護者に寄り添うことができる居場所が複数あればよいと思う。団体への支援を市にある程度してもらえたら、取組や活動が拡がり、やってみようとする団体も増えるのではと思う。

⇒身近な経験者の講座を開催するなど、市民が自分たちの力を生かして、支援しようとする仕組み、グループづくりをしていけばどうかと思う。

●病児保育（仕事と子育ての両立ができる環境づくり）

- ・病児保育のニーズが高まっている。西脇こども園以外にも市内にあればいいと思う。（また、難しいかもしれないが休みやすい企業も増えてくれればいいと思う。）

⇒人員確保（市内の園、病院、市などと連携し、派遣するなど）

3 子どもの権利等について

8 子どもの声を聴くための取組を実施していますか。または実施する予定はありますか。ありましたら、内容についてお聞かせください。〔子育て関係団体のみ〕

- ・学校に行きにくい子ども、勉強に自信のない子ども等を対象にしばぎく無料塾を開いている。小規模の中では、子どもたちの声を聞く事ができる。まだ始めたばかりなので、これからも広めていきたい。
- ・居場所を開設し、子どもたちが自由に安心して話せるような関わりをもっている。
- ・本人（子ども）のカウンセリングや療育を行っている。
- ・来ている子どもの年齢が小さいため、言葉で意見を伝えることが難しい。乳幼児が対象のため、子どもの様子や表情を見ている。
- ・活動する中で、子どもの意見を聴くように心がけている。

9 国、兵庫県、西脇市に対しする子育て支援策等に関する意見や要望など

●認定こども園に関すること

- ・今後、保育者1人あたりの子どもの人数が変わったり、配慮が必要な子が増えていく中でさらなる人材不足が予想される。いま働いている人が働き続けたいと思えるような、未来のある子どもたちが働きたいと思えるような職種、環境になってほしいと思う。
- ・（仮称）「こども誰でも通園制度」については、園の負担増のないようにしていただきたい。未就学の園児が園生活を体験することや、子育て支援は大切であるが、園にとっては、毎日計画的に取り組んでいる教育・保育が難しくなるという問題もあることを理解いただきたい。
- ・少子化の影響で園児数が減少していくのは避けられないが、低年齢児保育のニーズは持続していこう。園児数の減少による給付費等の削減があると、保育の現場はますます園の運営（質の高い教育・保育の保障、保育教諭等の人材確保等）が困難になる。保護者・地域のニーズに十分応えていくための予算措置をぜひお願いしたい。

●家庭環境づくり、愛着

- ・長時間預けっぱなしとなっている子どもが少しずつではあるが増えてきていることが気になる。保護者支援として、親子のふれあいの大切さを園も行政も啓発して行ければと思う。
- ・子どもを持つ親たちをもっと子どもと向き合せて過ごせる時間を作れるような働き方の政策を考えてほしい。

●少子化対策に関すること

- ・少子化を防ぐためには、若い年齢の人たちが働ける場が必要。若い世代が西脇市に魅力（魅力ある西脇市づくり）を感じ暮らしていこうと思えるようにすることが大事だと思う。

●子育て関係団体等への意見聴取まとめ

- ・「発育や発達に関することについて」悩みを抱えている子育て世帯が多いとの意見が多かった。一人一人の子どもの健やかな成長を支えていく必要があるため、発達に支援が必要な子どもへの施策を充実していく必要がある。
- ・豊かな遊びや体験、挑戦などの機会の大切さについての意見があった。安全で安心して過ごすことができる多くの居場所をもち、自己肯定感や自己有用感を高めることができる施策を推進していくことが重要である。
- ・共働きの家庭が多く、長時間こども園で過ごす子どもが多くなっているなど、親子のふれあいの時間が少なくなっているなどの意見が多かった。乳幼児期からの安定した愛着（アタッチメント）形成が必要不可欠である。
- ・併せて、子育てと仕事が両立できる就労環境の整備とともに、保護者の子育て力の向上を図る必要がある。
- ・安心できる相談支援体制を充実させるとともに、保護者だけでなく、地域社会全体で子どもを育てることができるよう支援していく必要がある。